

共通基盤システム標準化対応支援業務委託事業者プロポーザル選定委員会 議事要旨

第1回共通基盤システム標準化対応支援業務委託事業者プロポーザル選定委員会	
開催期間	令和4年4月11日(月)10時から10時50分まで
開催方法	対面会議方式
案件	共通基盤システム標準化対応支援業務委託事業者プロポーザル実施要領について
出席者	<p>[委員]</p> <p>行政経営部 情報政策室長 (委員長)</p> <p>行政経営部 情報政策室参事 (副委員長)</p> <p>児童部 保育幼稚園室主幹</p> <p>福祉部 生活福祉室参事</p> <p>学校教育部 学務課長</p> <p>[事務局]</p> <p>行政経営部 情報政策室</p>
<p>議題 共通基盤システム標準化対応支援業務委託事業者プロポーザル実施要領について</p> <p>事務局から共通基盤システム標準化対応支援業務委託事業者プロポーザル実施要領の説明を行い、以下の議論の結果、決定事項の修正を加えることを条件に実施要領が承認された。</p>	
委員からの意見等	回答及び決定事項
参加資格を「国、都道府県、中核市、人口30万人以上の市又は特別区の実績を有する」に絞っているが事業者の参加は見込めるか。人口10万人や20万人規模の市も同様の対応を行うと思うが。	中核市であれば人口20万人規模の実績でも参加いただけるようになっており、見込めると考えている。
各年度の提案限度額について、費用内に収まるのか。	見積を基に設定しており、費用内に収まると考えている。
来庁頻度について、仕様書では打ち合わせ頻度と記載されているが来庁頻度とリンクしているか。	オンライン等の手段も含めて市とのコミュニケーションを高めるための提案もあれば、必ずしも来庁頻度とリンクしなくても良いと考えている。また、「来庁頻度」を審査評価の項目名としてしまうと来庁回数を評価するような印象を与えるため、「受託事業者と市とのコミュニケーションについて」という名称に修正を検討する。

<p>受託者の親会社若しくは子会社は今後の共通基盤システム再構築業務に参加できないと記載されているが、各標準化対象システムの構築には参加できるという認識でよいか。</p>	<p>本業務のコンサルテーションに携わることにより、各標準化対象システムの構築に係る調達において有利になるとは考えていないため、参加できるという認識である。(選定委員会後契約検査室に確認済)</p>
---	---

以上

第2回共通基盤システム標準化対応支援業務委託事業者プロポーザル選定委員会	
開催期間	令和4年6月20日(月)10時から同年6月21日(火)12時まで
開催方法	庁内グループウェア上の電子掲示板への投稿による非対面会議方式
案件	1 評価部会における採点結果の報告 2 一次審査(二次審査対象者の選定)
出席者	<p>[委員]</p> <p>行政経営部 情報政策室長 (委員長)</p> <p>行政経営部 情報政策室参事 (副委員長)</p> <p>児童部 保育幼稚園室主幹</p> <p>福祉部 生活福祉室参事</p> <p>学校教育部 学務課長</p> <p>[評価部会]</p> <p>行政経営部 情報政策室主幹 (評価部会長)</p> <p>[事務局]</p> <p>行政経営部 情報政策室</p>
<p>議題1 評価部会における採点結果の報告</p> <p>6月13日(月)に開催された評価部会における採点結果の報告を部会長の情報政策室主幹から受けた。</p> <p>議題2 一次審査(二次審査対象者の選定)</p> <p>共通基盤システム標準化対応支援業務プロポーザル実施要領に基づき二次審査対象者について事務局から説明を行い、本プロポーザル企画提案者の二次審査への参加が承認された。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	

第3回共通基盤システム標準化対応支援業務委託事業者プロポーザル選定委員会	
開催期間	令和4年6月29日(水)14時から16時まで
開催方法	対面会議方式
案件	1 二次審査(プレゼンテーション・質疑応答) 2 価格審査結果の報告 3 最優秀提案者の選定
出席者	[委員] 行政経営部 情報政策室長 (委員長) 行政経営部 情報政策室参事 (副委員長) 児童部 保育幼稚園室主幹 福祉部 生活福祉室参事 学校教育部 学務課長 [事務局] 行政経営部 情報政策室
議題Ⅰ 二次審査(プレゼンテーション・質疑応答)	
<p>事務局より二次審査の時間配分及び質疑応答について説明後、企画提案者の二次審査を実施した。プレゼンテーション後は、提案内容に基づき、主に国からの情報提供や、先進技術の更なる活用、現行の共通基盤システム評価に関する質疑応答を行った。</p>	
質問(選定委員)	回答(事業者)
国の動向はどのように、どのタイミングで得ていく予定ですか？	原則、国からの共有が決まった段階でないと機密保持契約上、共有が困難である。だが、事前に理解する立場ではあると考えるため、ガバメントクラウドの先行事業については必要に応じて先行事業契約関係者の許諾を得て随時共有は実施する。
情報をいつ提供いただける予定ですか？情報は本市が能動的にプッシュしないと提供いただけないのか、A社さんが情報を得たタイミングで提供いただけるのかどちらでしょうか？また本市が何か困っているタイミングで情報を提供していただけるのでしょうか？	質問のすべてのタイミングで情報提供するが、基本的にはA社から能動的に提供していく。成果物は作成しているため、情報提供しながら反映を実施し、吹田市からの質問にも随時対応していく。
指標はどのように分析するのでしょうか？分析する場合はA社に分析いただけ	共通基盤について、A社で分析を行う。例えば、市民アンケートについてはA社が主

<p>るのでしょうか？分析に対する具体的な説明を求めます。</p>	<p>体で実施できないので吹田市への依頼となる。データの収集・分析・加工・公表資料も含めて A 社で実施する。提案書の指標については仮説となるため、吹田市と協議した上で目標管理をしていく。</p>
<p>Fit&Gap の記載がありますが、共通基盤に関する業務も対象に含まれますか？</p>	<p>Fit&Gap について各所管課への助言や進捗管理をしていく立場となるが、Fit&Gap そのものは実施しない。 ベンダーが Fit&Gap を実施する想定である。</p>
<p>神戸市で実施している先行事業の結果はいつぐらいにでるのか？</p>	<p>令和 5 年 3 月になる。 必要なものについては先行事業契約関係者の許諾を得て吹田市に随時共有を行う。</p>
<p>ヘルプデスクの体制規模が不明です。具体的に説明していただけますか？</p>	<p>ヘルプデスクについての回数制限は考えていないが、工数の範囲内であれば対応する。国の進捗管理ツールのヘルプデスク機能も併用していく。</p>
<p>RPA 以外の提案・事例はありますか？</p>	<p>AI-OCR や AI の判定ツールなど、他の自治体の動向をつかみながら、業務の再構築に向けて資する技術を提案していく。</p>
<p>システム標準化に向けて知識の浅いメンバーもいることを考慮した上で調整はしていただけるか？</p>	<p>吹田市の各所管との会話の機会があるので、調整させていただきたい。</p>
<p>受入テストの対象範囲は共通基盤に関する範囲のみですか、または原課所管のシステムも含まれますか。</p>	<p>工数的に受入テストを実施するのはむずかしい。全部実施するのではなく、どの範囲まで絞り込んで実施するか考え方を示すことはできる。</p>
<p>共通基盤システムの要否について現行の共通基盤の評価が必要だと思うがどうお考えか？</p>	<p>廃止したいと考える。共通基盤の使用の可否や国から費用負担について全く情報が公表されていないが、その点も加味して共通基盤について検討していく必要がある。ガバメントクラウドへ共通基盤での連携を考えているため、縮小・クラウド化させて廃止についても検討していきたい。</p>
<p>共通基盤について国とのやりとりの支援をしていただきたいが可能か？</p>	<p>是非、対応させていただきたい。</p>

審査後、各委員の審査結果を集計し報告した。

議題2 価格審査結果の報告

事務局より価格を公表し、価格審査結果を報告した。

議題3 最優秀提案者の選定

事務局より価格審査結果を加算した各委員の点数について報告し、最優秀提案者の社名を公表した。

「有限責任監査法人トーマツ」を最優秀提案者として決定した。

以上